

日本共産党議員団が大きくなれば

暮らし、福祉の願いは もっと議会に届きます

国保料引き下げに全力



市会議員
(党議員団・団長)

下田 敏人

大阪市会報告

2011年 3月号 日本共産党大阪市会議員団
大阪市北区中之島1-3-20大阪役所内 電話6208-8640 FAX6202-3784
ホームページ <http://www.jcp-osakasikai.jp> E-mail sigidan@jcp-osakasikai.jp

大阪都構想
狙いは明確

「大阪都」に強大な権限・財源 大型開発優先、市民サービス削減

「都庁」に吸い上げられ

大阪市(特別区)の財源6割に減少

「大阪都」は、大阪市の税収である固定資産税、都市計画税、法人関係税などを吸い上げ、都市計画決定権などを奪い、一人の指揮官が既に破たん済みの巨大開発に集中できる構想です。

大阪市(特別区)は、税収6704億円の内、2712億円を「大阪都庁」に吸い上げられ、約6割に激減します。

行政サービスの後退招く

府(大阪都)の税収は、市税の約3分の1が移管されて増収になる。一方で、特別区となる市の税収は減少。

特別区では行政サービスが後退する可能性がある。

森 裕之 立命館大学教授
(2.11シンポ「大阪都構想を超えて」より)

橋下知事の
福祉切り捨ての実績

「子どもが笑う大阪」を公言しつつ教育予算を3年で583億円カット、25年前の半分に。私学助成削減、中小企業向け融資打ち切り宣言等々、福祉をバツサリ。

敬老パスなど市民サービス
財源激減で大幅カットへ

「大阪都」では敬老パスや赤バスなどの福祉サービスは、廃止されるでしょう。「大阪都」は、淀川左岸線延伸や北ヤード、湾岸部などの巨大開発に、吸い上げた税収をどんどん投資、暮らしと福祉は、大きく後退することにならざるを得ません。

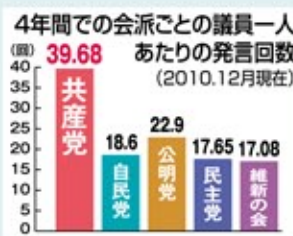
「大阪維新の会」のマニフェストも「企業活動を活性化させる空港、港湾、高速道路、鉄道のインフラを整備」「税金を集中投資」すると「本音」を告白しています。

自民 民主
公明 維新
のオール与党

国保料引き下げなど 市民の声に背を向ける

暮らしと福祉の声を議会に
共産党が40回、ダントツ

日本共産党議員団の質問回数は、一人あたり約40回、他党派議員の2倍と抜群です。また、「請願署名」の紹介数は、53件すべて日本共産党議員団です。他党派は、切実な市民の声に背を向ける冷たい姿勢です。



自・公・民・維のオール与党が否決
○賛成 ×反対

	共	自	公	民	維
(2010年3月26日)WTC問題解決の百条委員会設置	○	×	×	×	×
(2010年12月14日)住宅リフォーム助成条例	○	×	×	×	×
(2010年9月17日)乳幼児等医療費助成条例	○	×	×	×	×
(2010年9月17日)国保料引き下げの条例案	○	×	×	×	×
(2010年12月14日)一般決算認定	×	○	○	○	○

(注1)維新の会は2010年4月から会派にそれまでは自民党会派で反対

ムダな大型開発推進の市長提案に、
自民、公明は98%賛成
民主、維新は100%

メディアを活用した
プロパガンダ
——橋下流政治手法

ナチ党は合法活動期に大衆集会を重ねて激しい演説を行い、メディアを活用して大衆の感情を揺り動かすプロパガンダによって勢力を印象づけ、逆らうと怖いぞという雰囲気をつくりだした。

加茂 利男 立命館大学教授
(2.11シンポ「大阪都構想を超えて」より)

260万市民が夢と希望のもてる元気な大阪へ

子どもの医療費助成

入院は中学校卒業まで拡充、
入・通院とも所得制限撤廃
(0～2歳児)



党議員団は、市民のみなさんと力をあわせ、議会で21回の条例提案。こうした運動が実り、この11月から中学校卒業するまでは、入院に助成。

また、入・通院ともに0～2歳児の所得制限は撤廃されました。

普通教室にクーラー設置

党議員団は、学校関係者や保護者の願いに応えてクーラー設置を繰り返し提案、議会決議も決議するなど実現に尽力。

2012年度から順次設置されることになりました。

党議員団は、早期に全教室設置が実現するよう求めています。

「酷暑でも教室で勉強ができる」と、子どもは喜んでます。一日も早く全教室に設置されるよう共産党さんお願いします。
松原三希子(港区在住)

中学校給食 2012年度から順次実施

党議員団は、30年前からみなさんの運動と力を合わせて、中学校給食の実施を議会で迫ってきました。2013年度には全校で実施されます。

引き続き、自校調理方式の中学校給食に改善するためにがんばります。



みなさんと力合わせ暮らし、福祉を一步、前進させました



くらしと福祉を守る大阪市政にしよう「2・17市役所包囲行動」に参加する市民のみなさん

2011年度予算の組み替えを提案

- 国民健康保険の均等割保険料一人あたり1万円の引き下げ。
- 待機児解消のために保育所の拡充
- 乳幼児医療費助成制度は、通院も中学校卒業まで拡充。所得制限と一部負担制度の撤廃。
- 市独自に35人学級を拡大。
- 中学校給食は、2011年度から実施。
- 若者の雇用対策充実。
- 住宅リフォーム助成制度を創設。
- 市営住宅の建設。
- 市バス路線の拡充。
- 地下鉄8号線延伸着工。(今里～湯里6丁目)



地域経済活性化へ 住宅リフォーム助成条例創設で「仕事おこし」を

29都道府県、180をこえる自治体で実施、大きな経済波及効果をあげています。党議員団の提案は、市内業者に発注した住宅リフォーム工事に50万円を限度とし費用

の10%を助成する制度です。市が50億円の予算を組めば500億円以上の仕事が生まれます。試算すれば1030億円の波及効果があります。

駅のホーム柵設置が前進

「柵のない橋」と言われ、危険と隣り合わせの駅ホーム。障害者団体や利用者からの強い要望が議会を動かし、可動式ホーム柵設置が今里筋線や長堀鶴見緑地線に続き、千日前線、御堂筋線にも設置されることになりました。



敬老パス、 上下水道料金福祉減免制度

「敬老パスを守る連絡会」や高齢者団体などのねばり強い運動、党議員団の質疑・要望により、これまでどおり継続されることになりました。

2004年に敬老パス制度改悪の動きが出て以来7年、制度を守ってきたことになりました。

高齢者が元気で地域活動をするうえでは、無くてはならないもの。引き続き、継続されるように頑張ってください。
岸野滋也(城東区在住)

子宮頸がんなど 3ワクチン接種も全額公費負担に

(期間は2011年2月～2012年3月)

子どもは、病院に行くことが多くて、助成枠が拡大されることは本当に助かります。今度は、通院も中学校卒業するまで拡充してほしい。共産党さん、がんばってください。

吉田亜希(住吉区在住)